

褐色のセンセーション。音のファンクションをプラス。ひと波乱起こしてみようとは思わないか。

JX40

3バンドイコライザーにブルゲインスイッチ。そしてファットスイッチも。音作りのための機能を充実した30Wrmsのトリッキギア。

¥49,800

音量とディストーションを同時制御するマスターボリューム方式。センシティブな3バンドイコライザー。全域ブーストによってディストーションゲインをかせぐブルゲインと中域ブーストによって厚い音色を作るファットスイッチ。もちろんヘッドフォン端子も。コーヒ色のサウンドトリックを演じるのははかならぬ君だ。



パワー: 30W rms (60W peak) @ 8Ω
 スピーカー: 30cm (JA3066, 8Ω) × 1
 インプット: 1ch 2in (HIGH, LOW)
 入力感度・インピーダンス: HIGH (-39dB・340KΩ), LOW (-27dB・60KΩ) @ 0dB=0.775V, VOLUME & EQ max, PULL GAIN off, FAT off, at 1kHz
 アウトプット: HEADPHONE
 ファットスイッチジャック: REVERB
 コントロール: VOLUME, PULL GAIN SW, EQUALIZER (TREBLE, MIDDLE, BASS), FAT SW (1/2/3), REVERB
 定格電源電圧・周波数: 100V・50/60Hz
 定格消費電力: 24W
 サイズ: 50.8W × 45.0H × 21.0Dcm
 重量: 14.2kg
 付属品: VINYL COVER

JX50

充実したサウンドファンクションと50Wrmsのパワー。ライブはもちろんレコーディングにも威力を発揮するJXハイクラスギア。

¥59,800

マスターボリューム方式。加えて3バンドイコライザー。全域ブーストによってディストーションゲインをかせぐブルゲインと中域ブーストによって厚いトーンを生むファットの2つのスイッチファンクション。しかもパワーは50Wrmsと大型機なみ。ヘッドフォン端子も装備。この褐色のギアから何が生まれるのだろうか。



パワー: 50Wrms (100W peak) @ 8Ω
 スピーカー: 30cm (JA3066, 8Ω) × 1
 インプット: 1ch 2in (HIGH, LOW)
 入力感度・インピーダンス: HIGH (-39dB・340KΩ), LOW (-27dB・60KΩ) @ 0dB=0.775V, VOLUME & EQ max, PULL GAIN off, FAT off, at 1kHz
 アウトプット: HEADPHONE
 ファットスイッチジャック: REVERB
 コントロール: VOLUME, PULL GAIN SW, EQUALIZER (TREBLE, MIDDLE, BASS), FAT SW (1/2/3), REVERB
 定格電源電圧・周波数: 100V・50/60Hz
 定格消費電力: 35W
 サイズ: 54.4W × 45.0H × 22.0Dcm
 重量: 15.2kg
 付属品: VINYL COVER



① INPUT-HIGH: 高感度 (-39dB PULL GAIN off, -53dB PULL GAIN on), 高インピーダンス(340KΩ)なので、ディストーションが得やすくトーンもブライト。通常はこのHIGHを使う。
 ② INPUT-LOW: HIGHに比べ、低感度 (-27dB PULL GAIN off, -41dB PULL GAIN on), 低インピーダンス (60KΩ)なので、ディストーションが少なく、高域の落ちたマイルドなサウンドが得られる。サイドギターやキーボードなどに使う。
 ③ VOLUME+PULL GAIN: いわゆるリアンプボリューム。10側に回していくと音量(出力)が増すだけでなく、滑らかにディストーションを上げ、どんどんディストーションのかけ方が強くなっていく。右側のMASTER VOLUMEさえ絞っておけば、小さな音量でもディストーションが得られる。また、このVOLUMEノブには引くとオンするPULL GAINスイッチが装備されている。PULL GAINスイッチはほぼ全域ブースター。入れると信号にして約5倍(+14dB)のブースト効果がある。出力レベルの小さなギターの場合、ギンギンに至みそしてサステインの効いたサウンドの欲しい時にこそオンしよう。
 ④ MASTER VOLUME: ディストーションの状態や音色をほとんど変えずに、音量(出力)のみをコントロールするノブ。左側のVOLUMEノブと組み合わせれば、ディストーションの深さと音量が自由自在にコントロールできるから、ディストーションのためのエフェクターは必要なくなる。レコーディングや自宅練習にも便利だ。
 ⑤ TREBLE EQUALIZER: 高域のトーンコントロール。5でノーマル。10側に回していくと明るくそして鋭いサウンドに、0側に回していくとマイルドでこもったサウンドになる。
 ⑥ MIDDLE EQUALIZER: 中域のトーンコントロール。5でノーマル。10側に回していくと細くかつ粒のあるサウンドになる。

⑦ BASS EQUALIZER: 低域のトーンコントロール。5でノーマル。10側に回していくと深くそしてヘヴィなサウンドに、0側に回していくとハードで軽いサウンドになる。
 ⑧ FAT: 3ポジションファットスイッチ。中域のみをブーストすることで、音の腹を太くし、お厚いサウンドを作るスイッチだ。例えばジャズ風のある深みのあるサウンドが欲しい時に使う。また、回路的にはマスターボリュームの前に配置されているから、ディストーションさせた時にブルゲインスイッチと同じように、ブースターとして使っても効果がある。1はノーマル。2は軽いブースト。3は強いブーストだ。
 ⑨ REVERB: 音に残響音をつけ加え、奥行きやウェットな質感を出す重要なエフェクト。ライブPAやレコーディングには不可欠だ。
 ⑩ PHONES: ヘッドフォンジャック。ヘッドフォンを接続すると、JX50の内蔵スピーカーからは音が出なくなる。深夜のトレーニングや、ステージ上のチューニングやサウンドセッティング用のモニターとして活用しよう。

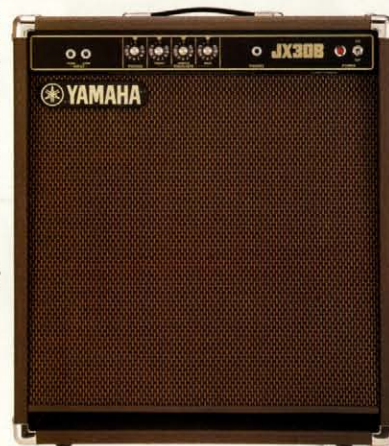
褐色のセンセーション。ベースの使命を考えたバスレフ。タイトに決めればいつでもナチュラルハイ。

JX30B

38cmベース専用ドライバーとバスレフエンクロージュア。3バンドイコライザーも。30WrmsでジャンプするMr.ベースマン。

¥49,800

ビッグな38cmベース専用ドライバー。内部から低域を取り出すことによって能率をアップするバスレフエンクロージュア。沈むような重低音からアツアツな中高音まで、ワイドなサウンドレンジをクリアにする3バンドイコライザー。ヘッドフォン端子も装備。コーヒブラウンのユニフォームも鮮やかな30Wrmsのベースアンプ。



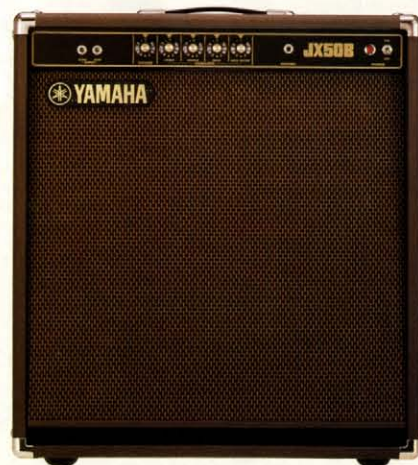
パワー: 30Wrms (60W peak) @ 8Ω
 スピーカー: 38cm (JA3854, 8Ω) × 1
 インプット: 1ch 2in (HIGH, LOW)
 入力感度・インピーダンス: HIGH (-37dB・340KΩ), LOW (-25dB・60KΩ) @ 0dB=0.775V, VOLUME & EQ max, at 1kHz
 アウトプット: HEADPHONE
 コントロール: VOLUME, EQUALIZER (TREBLE, MIDDLE, BASS)
 定格電源電圧・周波数: 100V・50/60Hz
 定格消費電力: 24W
 サイズ: 54.4W × 65.0H × 28.0Dcm
 重量: 22.0kg
 付属品: VINYL COVER

JX50B

3バンドイコライザーにベースブースターをプラス。50Wrmsのハイパワー。ベースにだってトリックはいっぱいある。

¥66,800

定格を越えてはるかにラウドなパワー。大口径38cmのベース専用ドライバーを、低域の能率を一段とアップするバスレフエンクロージュアにマウント。トーンコンは3バンドイコライザー。加えて低域の迫力を倍加させるベースブーストノブも強力。もちろんヘッドフォンもOK。コーヒブラウンのユニフォームで決めた50Wrmsのベースアンプ。



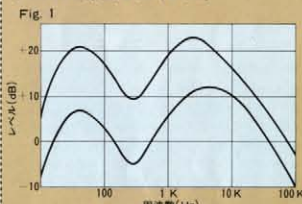
パワー: 50Wrms (100W peak) @ 8Ω
 スピーカー: 38cm (JA3853, 8Ω) × 1
 インプット: 1ch 2in (HIGH, LOW)
 入力感度・インピーダンス: HIGH (-39dB・340KΩ), LOW (-27dB・60KΩ) @ 0dB=0.775V, VOLUME & EQ max, BASS BOOST off, at 1kHz
 アウトプット: HEADPHONE
 コントロール: VOLUME, BASS BOOST, EQUALIZER (TREBLE, MIDDLE, BASS)
 定格電源電圧・周波数: 100V・50/60Hz
 定格消費電力: 35W
 サイズ: 59.4W × 67.0H × 30.0Dcm
 重量: 26.6kg
 付属品: VINYL COVER

COLUMN 2:

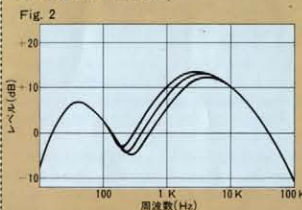
この際だからJXシリーズの各種ブースト機能を研究してしまおう。

JXシリーズの大きな特徴のひとつにいろいろなブーストファンクションを装備していることがあげられる。例えば、JX20、JX30にはPULL GAINスイッチが、JX40、JX50にはPULL GAINスイッチとFATスイッチが装備されている。ベースアンプJX50BにはBASS BOOSTノブが装備されている。その働きをここで徹底的にマークしてみよう。

PULL GAIN: Fig.1はJX50のPULL GAINスイッチの働きを示したもので、TREBLE、MIDDLE、BASSをすべて最大に上げ、FATスイッチをオフにした状態で測定したグラフだ。10Hz-100kHzの全域にわたってブースト効果がある。トータルとして+14dB(約5倍)に信号が増幅されるから、出力レベルの小さなギターでも十分にディストーションが得られるというわけだ。



FAT: Fig.2もやはりJX50の場合、TREBLE、MIDDLE、BASSを最大にし、PULL GAINスイッチのオフ状態でFATスイッチ切り換えによる効果を確認したものだ。FATスイッチは、1(ノーマル)/2(+3dBブースト)/3(+6dBブースト)の3ポジション。200Hz-2kHzあたりの中域のレベルを+3dB(約1.4倍)ずつブーストすることで太い音質を作るスイッチだ。



BASS BOOST: イコライザーのBASSを上げ、その上にさらに重い低域が欲しい場合に使う低域ブースターノブ。JX50Bに装備されている。Fig.3はTREBLE、MIDDLE、BASSを最大にし、BASS BOOSTノブの働きを示したものだ。50Hz付近の低域を中心に+16dB(約6倍)のブースト効果があるから、相当ヘヴィな音ができる。しかも連続コントロールだから微細なセッティングもOKだ。

